

会 議 議 事 録

会議名	平成27年度第2回稲敷市総合教育会議		
日 時	平成28年1月12日(火) 午後13時30分から	場 所	江戸崎庁舎2階会議室
出席者	<p>田口久克市長，姥貝守教育委員長，山岡孝夫教育委員長職務代理者，須貸依子委員，徳田好廣委員，坂本繁教育長</p> <p>【事務局】 内田副市長，高山政策調整部長，一畝田教育部長，柳町秘書広聴課長，根本教育学務課長黒田指導室長，川崎生涯学習課長，坂本子ども家庭課長，岡沢秘書広聴課長補佐，小田部秘書広聴課係長，森田教育学務課長補佐，板橋教育学務課係長</p> <p>(記録者) 秘書広聴課主幹 吉原</p>		
議題	<p>(1) 稲敷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の概要について</p> <p>(2) 稲敷市総合戦略の教育委員会重点施策について</p> <p>①教育学務課 ②指導室 ③生涯学習課 ④子ども家庭課</p>		
傍聴人	なし		
事務局	<p>定刻となりましたので、只今から第2回稲敷市総合教育会議を開催させていただきます。それでは、開会にあたり田口市長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。</p>		
田口市長	<p>新年明けましておめでとうございます。本日はお忙しい中、平成27年度第2回総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。教育委員の皆様には、日頃より、教育の振興・発展のためご尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。</p> <p>また、江戸崎小学校、君賀小学校、及び鳩崎小学校の再編統合の準備も順調に進んでいる様であります。4月から新たな体制で学校運営に取り組むことが出来るのも、教育委員の皆様のおかげでございます。改めまして、御礼を申し上げます。</p> <p>さて、現在、市では人口減少が大きな課題となり、国における「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、昨年「稲敷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を公表しました。本日の会議では、その総合戦略に掲げた教育委員会の重点施策について説明させていただき、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思ひます。よろしくお願ひいたします。終わりになりますが、今後とも教育委員の皆様には、教育行政の更なる発展のためにお力添えをいただく事をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。</p>		
事務局	<p>ありがとうございました。早速ではございますが、議事に移らせていただきます。総合教育会議運営要綱第4条第5項の規程により、会議の議事進行を田口市長にお願いしたいと思ひます。</p>		
田口市長	<p>それでは、議事進行を務めさせていただきますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。議題(1)稲敷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略について説明を求めます。</p>		
高山政策調整部長	<p>お配りをしております、「いなしきに住みたくなっちゃう♥プラン総合戦略」の概要を説明させていただきまして、そのあと教育委員会の各課の方からこれに盛り込んでございませう、教育委員会の重点項目について説明させていただきます。私の方からは今回策定に至</p>		

った経過ですとか、概要を説明させていただきます。

一昨年の11月に制定されました「まち・ひと・しごと創生法」により、全国の自治体におきまして、地方人口ビジョンと地方版総合戦略の策定が義務付けられております。その年の5月に日本創生会議の中で政府に、提言書を提出されております。その提言書の中には非常にショッキングな言葉や、数値が出されておりました。市の方でもこれを受けまして国の施策の前に市独自で、庁内に若手職員と、部長級職員で人口減少対策にかかるプロジェクトチームを副市長中心に作りまして、この法律に先駆けて「いなしきに住みたくなっちゃう♥プラン」を策定しております。そのプランの中では今までのように分かりずらいとか、抽象的なことはやめまして、若手の方々には積極的に「こうゆうことをやったほうがいいのではないか」とか、「人口減少をとめるにはこういう施策を行ったほうがいいのではないか」というのを取り入れまして、取り入れたものは必ず予算化をしようということで進めております。今年度から既に取組んでおりますが、例えばマイホームの助成と言いまして、市内に若い夫婦がマイホームを建てるというときには最大100万円を補助するということやっていたり、教育委員会では英語検定の助成をしたりなどは今年度から、国の施策に先駆けて既に始めている状況でございます。今回の総合戦略につきましても、「いなしきに住みたくなっちゃう♥プラン」をベースに、更にバージョンアップをさせて策定したのが、今回の総合戦略プランということになります。

【稲敷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略により説明】

- －人口動向について（26ページ）
- －人口の将来展望について（3ページ）
- －プランの目的、基本目標について（4ページ）
- －日本一！茨城一！を目指すプロジェクトについて（5ページ）

次のページから詳細は細々と書かれておりますが、今回は教育委員会の施策を中心に説明させていただきたいと思っております。以上でございます。

田口市長

只今、政策調整部より説明がございましたが、これにつきましてご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

（特になし）

続きまして、議題（2）稲敷市総合戦略の教育委員会重点施策について、説明を求めます。

まず、教育学務課より説明願います。

根本教育学務
課長

【稲敷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略により説明】

- －就学援助費助成事業（144ページ）
- －奨学金支給事業（148ページ）

田口市長

只今、教育学務課より説明がございましたが、これにつきましてご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

須貸委員

就学支援のトップクラスの手厚い支援という言葉が出ていました。それに関しまして、就学援助費ですね、やはりぎりぎりの線という方がたくさんいるという現状で、市としても予算をとっていただいて少し幅を広くとっていただきたいなと思っております。

もう一点は奨学金支給事業で、今、月額25,000円ですが、これなんとか50,000円にならないでしょうか。普通一般の大学生がもらっているのは50,000円なんです、そこまで上げられないでしょうか。一人50,000円にあげたところで一人年30万、3人で90万ですから、そんなに高い額ではないでしょう。25,000円いただくより50,000円いただく方

<p>田口市長</p>	<p>が違うのではないかなと思います。相場を考えるとそう思いました。</p> <p>それと、ちょっとここにはでてきてないんですけど、私桜川の方にいまして、学校再編の方はどうなっているのかなと言う声が、やっぱり聞こえてきます。中学校の1クラスというのは不安だと、あと小学校3つある中で、図書館司書がおいてある古渡小学校、図書館は素晴らしいけれども、浮島は頑張っているけれども、人の差は大きいのではないかと。なんとか一つになっていく方向であればと言う声が聞こえてきていますが、市としてはどうやって計らっていらっしゃるのかと、現状がどうなっていくのが、もしビジョンがあたりでしたら教えていただきたい。</p> <p>今須貸委員の方から3点ほど質問をいただきまして一つはトップクラスの支援予算はどうなっているのだろうか、2つ目が奨学支援金が50,000円にならないか、そして桜川地区の学校再編の現状、この説明をお願い致します。</p>
<p>根本教育学務課長</p>	<p>はい。就学援助費でございますが今現在、世帯の総年収額が生活保護基準年額の1.2倍以下というようなことで基準がございますが、今現在緩和を検討しております、一つポイントを緩和しますと、小学生で、見込みではございますが、30人と中学生で26人の準要保護者の増加を見込んでおります。今現在財政当局とその分の予算増額について要求をしている段階であります。</p> <p>2点目の奨学金の支援事業についてですが、月額25,000円を50,000円にはしてはかかるとかというご意見についてですが、これにつきましては148ページの下の方にもございますが、申請者数が市の条例ですと、年間15人まで申請できるんですが、平成26年度が3人、平成27年度も3人と申請者の数が少なくなっております。市の教育委員会ではホームページ等でPRしているところではあるんですが、少しPR不足ではあるのかなというところもあります、申請者の数が少ない状況です。25,000円という金額が低いのか、それとも違う理由があるのか検討だとは思いますが、奨学金につきましては、基金において取り扱っておりますので、市の予算とは別でございますので、そのへんのところは、今まで借りて下さった方々ですとか、今借りている方にアンケートなどをとってみまして、どれくらいが妥当かということ調査する必要があると考えておりますので、そのへんは検討させていただければなと思います。</p> <p>3点目の桜川地区の学校再編についてですが、桜川地区の小学校再編につきましては、市の学校再編実施計画に基づきまして、今調整を行っているところでございますが、桜川地区につきましては平成31年までに阿波小学校、浮島小学校、古渡小学校の3つの小学校を1つに統合する計画でありまして、平成26年度から保護者を中心に説明会を開催している状況であります。しかし、まだ統合小学校をどのような形で、どこに統合小を作っていくかということが固まっておられませんので、前に進んでいないという状況です。以上でございます。</p>
<p>田口市長</p>	<p>今3つの質問にお答えさせていただきました。よろしいでしょうか。なにかございましたら。</p>
<p>徳田委員</p>	<p>はい。よろしいでしょうか。奨学金のところ、いろいろアンケートをとって、進めていきたいとおっしゃっていただいたんですが、前向きに検討するということがよろしいでしょうか。</p>
<p>根本教育学務課長</p>	<p>はい。「住みたくなっちゃう♥プラン」でも目標としまして少し借りて下さる方を増やしていこうという考えでございますので、調査結果を見ながら必要なことと判断できれば前向きに検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p>
<p>田口市長</p>	<p>他になにかございましたらよろしくお願い致します。もしよろしければ先に進めさせていただきます。</p> <p>(特になし)</p>

<p>黒田指導室長</p>	<p>それでは次に指導室より説明をお願い致します。</p> <p>【稲敷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略により説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> －ALT 派遣事業・英語検定の検定料補助事業（150ページ） －防災教育推進事業（151ページ） －ふるさと学習推進事業（160ページ） <p>次は新規事業でございます。資料の方にはございませんが、(仮称) 子どもセンター事業を計画してございます。現在計画ですので、本日は口頭での説明とさせていただきます。(仮称) 子どもセンター事業は、適応指導教室と教育センターの2つの内容を考えております。適応指導教室は、不登校児童生徒に対する支援を行います。現在は新利根庁舎3階におきまして教育相談室が開設されておりますが、これまで以上に不登校児童生徒のための支援を、充実させるために独立した施設で支援していきたいと考えております。また、この施設は、教職員の資質向上を目指した研修等を行える、教育センターとしての機能も、果たすことができるような施設にしたいと考えております。以上です。</p>
<p>田口市長</p>	<p>ただ今、指導室の方から説明がありましたが、これにつきまして意見等がございましたらよろしくお願い致します。</p>
<p>姥貝教育委員長</p>	<p>はい。質問ではないんですが、ぜひ子どもセンター、それから教育センター施設の設置をお願い致します。理由につきましては、学校だけでは解決できない問題があります。お金の問題だけではなくてね。そういった問題も関わって来るんじゃないかなと思います。市の方では教育相談を新利根庁舎の方で行われたり、家庭教育相談、これも同じく新利根庁舎子ども家庭課で行われたり、それから精神保健相談とかね、いろいろな形をとっていただいていますけれども何かこう一つの拠点といいますか、場所が必要じゃないのかなと。それから新利根庁舎3階で行われています相談についても、なかなか人の目をはばかるというか、目についてしまうというような部分でありますので、適応指導においても、教育指導においてもそういった拠点施設が必要だなと思いますので、強くお願いしたいなと思います。以上です。</p>
<p>田口市長</p>	<p>ありがとうございます。指導室の方から回答をお願い致します。</p>
<p>黒田室長</p>	<p>はい。現在新利根庁舎3階の方で、教育相談室が開設されているんですけども新しい設置の計画では、ふれあいセンターという案がありましたが、一般の外部の方との接する機会が多くなってしまうということで、独立した施設がいいのかなということで考えております。適応指導教室の方では、不登校児童生徒の集団生活のための適応や、情緒の安定、基礎学力の補充等行うにあたりまして、十分な施設がいいかなということで、これまでの教育相談室の方から独立した施設の方に設置してできるようにしていきたいなと考えております。以上です。</p>
<p>山岡委員長職務代理者</p>	<p>具体的な場所は未定なんでしょうか。ふれあいセンターがだめになったということですよ。</p>
<p>一鍬田教育部長</p>	<p>具体的な候補地ということなんですが、今事務局の方で検討している場所でございますが、この3月で閉校となって、江戸崎小学校と統合になりますけれども、鳩崎小学校の跡地、ここが国道から一本奥に入ったというようなことで、そんなに目立たない場所でもありますし、一番適しているかなというようなことで考えておまして役所内部、それと議会とこれから協議させていきたいと思っております。以上でございます。</p>
<p>徳田委員</p>	<p>随分話が進んでいるようなのでお聞きしたいんですが、規模といいますか、施設そのものもそうなんですが、人員的な人数とかそういうものの構想はできているんでしょうか。</p>

一 鉾田教育部 長	はい。施設の構想ということなんですけれども、これからつめていかなければならないと思うんですけれども、現在の相談室は非常勤の先生方3名で対応しておりますけれども、1名プラスをさせていただきまして、4名の先生方で対応できればと考えております。施設が役所の方から離れますので、臨時の一般職の配置がもしできればその辺もお願いしたいとそうように考えております。あと、鳩崎小学校の1階を使いまして相談業務を行いたいと思っておりますので、2階については教職員の研修施設としてというようなことで考えておまして、この辺については教育長さんの意見では指導室の方から交代で一人が常駐するような形がいいのかなと今案を持っております。その辺はつめさせていただきたいと思えます。以上です。
徳田委員	研修センターと言いますとですね、私の認識では独立したセンターであって、そこでましてや教員の資質向上を目的とするプログラムも組まれるということですので、センター長とか、そういう管理できる人を常駐させるべきではないのかなと、個人的にはそう思いますけど。今お話しかがいますと本庁との行ったり来たりでなんかはっきりしないところがあったような気がしていたので質問させていただきました。
田口市長	教育部長、よろしいでしょうか。
一 鉾田教育部 長	徳田先生のおっしゃるとおりでございます。他の自治体を見てみますと、教育研修センター長という責任者がいらっしゃいまして、内容の責任もありますけれども、施設自体の責任も担っているということでございます。当面は今お話ししたとおりの形でスタートさせていただきまして、その辺については今後つめていってスタッフが勢ぞろいできればとそうように考えますのでよろしくお願い致します。
田口市長	その他にかございますでしょうか。なければ先へ進めさせていただきます。
	(特になし)
	次に、生涯学習課から説明をお願い致します。
川崎生涯学習 課長	<p>【稲敷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略により説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> －三代交流スポーツフェスティバル事業（114ページ） －放課後子ども教室推進事業（139ページ） －水辺の学校事業・イナシキッズ事業（152ページ） －茨城ゴールデンゴールズとの連携したPR事業（164ページ） －公民館を拠点とした地域コミュニティ推進事業（166ページ）
田口市長	只今、生涯学習課より説明がございましたが、これにつきましてご意見等ございましたらお願いしたいと思います。
徳田委員	直接関係してはいないのかなと思うんですが、関連性もあるのかなと、地方創生ということで。先月定例会の中で国民体育大会についての説明を受けたんですが、聞きますところ随分性急な形で準備を進めていかなきゃならないそんなお話でした。急に飛び込んできて依頼があって、受けざるを得ないような形で進めて行くんだという話だったと思います。協議はトランポリンだとお伺いしておりますが、トランポリンと言うのはあんまり知名度がないんですけれども今度のオリンピックには正式種目として、採用されるということでしたから、その種目に該当する国民体育大会なので慎重に、丁寧に準備を進めていくしかないのかなと、しかも早急に。進捗状況と言いますか、先ほどの説明でこのパンフレットもですね、副市長さんと若手の方で下地を作っておいて下さったから、今回素早く出すことができたとお伺いました。何事も先に準備をするということで、話があって決定する前に準備をしておいた方がいいのではないか、国民大会となりますと全国的なイベントとなり

	<p>ますので、信用度といいますかこの辺も後々かかってくるのかなという感じがします。どういう感じになるのか誰も検討がつかないのではないかと初めての競技ということですね、早めに準備を進めてもよろしいのではないかなと、そこでどのように質問してよろしいか迷っていたんですけども、長期的な計画もあります、短期的に目の前の問題を処理していかなければならないこともあるのではないかと、そのうちに国民体育大会は入るのではないかと。一つ気になったのが国民体育大会というのは、規模からすると全市民で盛り上げていかなければならない、市長さんを中心にして全員で盛り上げていかなければならないと思います。だから担当部署が相当しっかりしなければならぬ、中心となるべき実行委員会とか、推進室とか、特別になる一部屋設けて国体が終了するまではそこに専念できるスタッフをそろえて、それで進めていく必要があるのではないかなと。国体は早めに準備して稲敷の名前を広める一つの手段にされてみてはいいんじゃないかなと。子どもの教育のためにも活用できると思いますし、教育的意味から言っても効果があるのではないかとこういうふうに思いますので、進捗状況といいますか、流れをお聞かせいただければと思います。</p>
<p>田口市長</p>	<p>では、生涯学習課のほうからお願い致します。</p>
<p>川崎生涯学習課長</p>	<p>それでは、今ご質問のありました、国体におけるトランポリン競技開催にむけた動向につきまして、私の方から説明させていただきたいと思っております。平成31年にスポーツの祭典としまして、第74回国民体育大会が茨城県で開催をされます。そして稲敷市におきましてはこれまでデモンストレーション競技としまして、トランポリン競技の開催が平成26年の7月に決定をされているところがございます。この間一方日本体育協会の方ではオリンピック種目でありながら、国民体育大会の正式種目でないトランポリン競技につきまして、平成31年の茨城国体から正式種目として導入していくことについて、検討を続けておりました。本県での開催をそこで提示しておったところがございます。このような状況にありましてこの度、本県の競技団体の方から、平成31年の茨城国体におきまして正式種目としてトランポリン競技をぜひ稲敷市で開催してもらいたい旨の申し入れがありました。これを受けまして当市といたしましても、開催にむけての協議を積極的に進めていくということとなりました。今回の大会につきましては、稲敷市の存在感を全国に示す絶好の機会であり、このビッグイベントを成功させるためにも市内競技施設整備や、各種事業の準備実施に関する業務等を円滑に進め、稲敷市の特色が活かされた受け入れ態勢というものを、市の一体感を醸成させていくためにも重要であると考えております。今後の予定としましては、来月2月でございますが、県の実行委員会の方で茨城県の方でも受け入れの承認がございます、そちらを受けまして、県の方に信託をして、およそ6月を目途に国の方で茨城国体で正式な種目の決定がなされる予定でございます。近隣の市町村では既に業務の方は正式種目に向けて終了しておりまして、そういったところを調査しますと、約132項目にわたる調整、決定事項があるようでございます。そういった内容を今後速やかに進めていかなければならないといった状況がございます。今回の国体を一過性のイベントと捉えるのではなく、今後の稲敷市のスポーツ振興が図れるよう進めていければと考えてございます。以上です。</p>
<p>田口市長</p>	<p>生涯学習課の説明がございましたが、ご質問がございますか。</p>
<p>徳田委員</p>	<p>具体的にどのように進めていくか。6月に正式種目として承認されるということでしたので6月まで動けないのかもしれませんが、一応実際そういう風に決まるのであればもうスタッフを組んでそして進めていってもいいのではないかなと、そういうふうに動きがとれるように市長さんをお願いしたいなど。</p>
<p>田口市長</p>	<p>2019年ですよね。国体が開催されるのは、20年がオリンピック。今年の6月に132くらい項目の調整事項がある。6月に大体決まると、2、3年で決めていかななくてはならないんですね。</p>

徳田委員	もっと具体的な質問をしてよろしいでしょうか。会場については何か情報がないんですか。
田口市長	昨年、江戸崎体育館でトランポリン大会がありまして、高さに問題がなかったということで声をかけていただいたんだろうとっております。実際に大会をやったんですよね。
川崎生涯学習課長	県の競技団体が視察にもいらっしゃいまして、施設については問題ないということで、ただ、不備の点も何点か指摘されておりますので、そういったところは今後検討していかなければならないのかなと考えております。
田口市長	正式に「やって下さいよ」と言われても受けることは可能だということです。徳田委員さんがおっしゃったとおり、これから具体的にどの様に進めていくかということを考えていかなければならないですよ。例えば、選手の皆さんの泊まる場所があるか、そういうところも必要になってきますよね。稲敷市にそれだけのビジネスホテルや、旅館があるかという、どのくらい来るかまだ分かりませんが、場合によっては近隣市町村に応援をいただければならないのかなと、そういうことも考えていかなければならないなと思っております。
	他にございますか。
須貸委員	今は生涯学習課でやっていますが、今後生涯学習課ではなくて、一つのプロジェクトチームのようなものができるのでしょうか。
内田副市長	準備はかなり大変だと思いますので、きちんとした国体準備室とかスポーツ振興室なり必ず必要だと思っております。それがいつ必要になるのかということは、内部で検討している段階で、今いつ頃そういう組織ができるかということはお答えできないんですが、なるべく早くできるように調整したいと思っております。
田口市長	その他ご質問がありますでしょうか。
姥貝教育委員長	公民館についてですが、生涯学習と言いますと「一生涯勉強しなさい」ということなんで、高齢化といったものが関わって来ると思うんです。お年寄りになりますと、遠い公民館ですとかそういうところまで行けないんですよ。自分で行ける人はいいんですが、そうでない人も「学びたいんだよな」という考えを持っている人もいますよね。ぜひそういう人たちのニーズも考えて、世代ごとにどこら辺を狙った事業にするのかなということも考えていただければなという要望です。
田口市長	生涯学習課の方からお答えをお願い致します。
川崎生涯学習課長	ただ今ご要望ということでお伺いしましたお話につきましては、今後事務局で様々な計画をしていく際に取り入れながら実施して参りたいと思っております。
田口市長	他に何かございますでしょうか。
	(特になし)
	ないようですので次に子ども家庭課の説明をお願い致します。
坂本子ども家庭課長	【稲敷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略により説明】 <ul style="list-style-type: none"> －「子育てタウン」ママフレ事業（137ページ） －放課後健全育成事業（138ページ）

田口市長	只今、子ども家庭課より説明がございましたが、これにつきましてご意見等ございましたらお願いしたいと思います。
須貸委員	内容についてということで11個もあるんですが、説明しているのが今回は2つだけと 言うことで、私は10年ほど子ども家庭課で相談員をしておりましたが、その仕事量がい かに増えているかということがよく分かっております。虐待されている子どもたちを守る 上において、専門的な知識を持った常駐の正職員を一人おいていただければ、課の方のお 仕事も少しは楽になるのではないかと、今は兼任でやっていらっしゃるんですね。兼任でや っていらっしゃる方は初めてこの仕事に携わったと、虐待のこともよく分からないという 方がいらっしゃって相談員と一緒にやっていくわけですがけれども、そうでなくて、市とし て手厚い支援、子どもたちを守るんだという姿勢があるならばやはり専任の人を一人雇っ ていただきたいなと思いますけれども。現、課長さんとしてはどのように思っているかお 聞かせいただければと思います。
坂本課長	専任の担当者が必要なのではないかとご質問についてなんです、確かに児童相談 におきましては非常に相談内容が増えております。それに対して児童相談員2名というこ とで、実際のところ苦慮しているのが実情でございます。今後は人的配置、要望等こちら からできることがあれば要望していきたいと思っております。
田口市長	質問ございましたらお願いいたします。 よろしいでしょうか。予定されていた項目は以上になりますが、この際なので、他にな にかございましたらご発言をお願い致します。
徳田委員	パンフレットについて思ったんですけども、市民の意見も随分取り入れられていて、 非常にいいなと思っております。一つだけ、目標というのは数字で立てるのは具現性がで てきていいのかなと思います。できれば、具体的に目標の中に数字を入れていただいて、 実際にいい案だと思しますので、全員でやれば稲敷市も盛り上がっていくのではない かと。市民が動くかどうかだと思うので、そのためにはまず目標を定めて目標をどうに かするためにはどういう方策がいいかという、いろんな視点から見えて考えていかなけれ ばならない。それを具体的にあげていって、そういうことを繰り返しながらやっていただ ければと思います。数字化して見せて誰にも分かるように説明していってもらえれば、もっ とよくなるのではないのでしょうか。 もう一点については関係者については、適宜、中間報告をしていただければと思います。 ぜひ稲敷市をせっかくのチャンスですので圏央道もここへ取り入れるだけではなくて、圏 央道を使って出て行ってどんどんいろんなものを取り入れてPRを進めていくという、全員 が頑張れるようにしていただければと思います。
田口市長	委員長、なにかございますか。
姥貝教育委員 長	市民に対して非常に手厚いなおもいました。ゆっくり読ませていただきました。
田口市長	では、事務局で副市長一言。
内田副市長	徳田委員のおっしゃっていることがごもっともだと思っております、少し補足の説明 で60ページを見ていただきたいんですが、今回の総合戦略においてはP→D→C→Aサイク ルというものを取り入れておまして、P、計画、D、実行、C、評価ということでこういう ことが行政ではなされていなかったんですが、毎年毎年数値目標があるものですか、数 値目標がないものもありますが、市長が検討委員長になっておまして、まず市の内部で 評価をしまして外部の委員さんにもきちんと評価をしていただくと。評価をした結果Aの 改善ということで、「ここ直したほうがいいのではないかと」かを検討し、毎年P→D→C→ Aサイクルということで回しながらやっていきますので、これからこれをどんどん良くし

田口市長	<p>ていくということで、皆さんどうぞよろしくお願い致します。</p> <p>ありがとうございました。他にございますか。</p> <p>(特になし)</p> <p>それでは、特に無いようでしたら、ここで議事進行の座を降ろさせていただきます。本日はご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>本日は、大変、ご苦勞様でございました。以上をもちまして、第2回稲敷市総合教育会議を終了させていただきます。ご苦勞様でございました。</p>